



いつかどこかで出会った 懐かしい風景

心のふるさとが、ここに—
高橋まゆみ人形展
2026.1.9[金]—4.5[日]

春を告げる菜の花が、川沿いに咲き揃います。花畑を背景に微笑む《夕暮れの二人》からは、仕事を終えた夫婦がひと息つきつつ、ぽつり、ぽつりと語らう声が聞こえてくるようです。

高橋まゆみは、長野県飯山市在住の人形作家です。北信濃の四季豊かな自然の中で、家族との日常や地域の人々の暮らしをモチーフに、創作活動が続けてきました。

高橋まゆみの人形たちは、みんな笑顔です。《帰り道》で手をつなぐ男の子とおじいさんも、家に帰るまでの時間が本当に楽しくて。二人の満ち足りた気持ちが伝わってきます。幼いころの思い出を重ねる人も多いでしょう。

親子の愛に胸迫る《母の手》は

作者の実体験から生まれました。つらい時があって、母の居る実家へ。寝たきりの母の膝元で泣き疲れ、ふと目を覚ますと、母がそっと彼女の背中をなでていました。その手のぬくもりに、またホロリ…。

《祈り》は、手の仕草から慈しみの心が感じられます。毎朝、神様仏様と祈りを捧げる白髪の女性の手は、丸くふんわりと重ねられています。掌のうちに全ての人々の願いが包み込まれているようで、その居ずまいは「祈り」そのものです。

高橋まゆみの創作の源は「忘れたくない、大切なものを残していきたい」という願いです。高橋まゆみの人形から、ふるさとにも似た懐かしさに誘われてみれば、人と人とのつながりの温かさが深く心



「祈り」2001年

に染みわたります。展示会場では、笑顔の人形たちとともに、各々の「ふるさと」を想うときを過ごしていただければと思います。

(学芸グループ長 河内えり子)



「帰り道」2002年



「母の手」2002年

高橋まゆみ人形展 同時展示①

村上豊と郷土ゆかりの画家たち
2026.1.9[金]—2.15[日]

村上豊(1936-2022)は三島市出身の画家です。静岡県立三島南高等学校を卒業し、三島市役所に3年間勤務しました。その後上京し、新聞や雑誌の挿絵、絵本、書籍の装幀などを手がけました。

村上が生み出す人間や妖怪たちは、優しく伸びやかな筆遣いで描かれ、その表情はとてもユーモラ

村上豊
高田崇史著『鬼神伝 神の巻』
(2004年4月27日講談社刊)裏表紙原画



村上豊
高田崇史著『鬼神伝 鬼の巻』
(2004年1月30日講談社刊)
「オロチに乗る二人」原画



スです。2004年に刊行された高田崇史氏の小説『鬼神伝』では挿絵を担当し、個性豊かな登場人物たちを墨とシンプルな彩色の墨彩画で表現しました。

このたび高田氏より『鬼神伝』のすべての挿絵が当館に寄贈されたことを記念し、みなさまにお披露目します。

(学芸グループ学芸員 山本貴子)

高橋まゆみ人形展 同時展示②

佐野美術館の
おひなさま
2026.2.21[土]—4.5[日]

同時展示②の詳細は、裏面に記載しています。

ミュージアムショップ

オリジナル
トートバッグ
えんじ色 1,500円
グレー 2,000円

オリジナル
手ぬぐい(3種)
各700円

『ふるさと四季だより』
2,000円

『人形出会旅』
1,760円

ポストカード
セットB『おむすび』
500円

※商品はすべて「高橋まゆみ人形展」開催期間中のみ販売。価格はすべて税込表示です。

さのびでまなぶ

注目のイベント

※諸事情により
変更や中止の場合があります。高橋まゆみさん
来館記念イベント
ギャラリートーク&サイン会

高橋まゆみさんが展覧会場で、作品誕生のエピソードや制作方法などをお話します。どうぞお楽しみに！



高橋まゆみさん

日にち：1/9(金)

■ギャラリートーク

時間：10:30～

会場：佐野美術館 2 階展示室

※申込不要・聴講無料・入館券をお求めの上、展示室入口にお集まりください。
※展示室が混雑し一定の人数を超えた場合は、入館制限を行う場合があります。

■サイン会

時間：11:15～

会場：佐野美術館講堂

定員：50 名

※要入館券・整理券は 10:00～当日ミュージアムショップにて高橋まゆみさんの書籍をお求めの方に配布します。

高橋まゆみ人形展 同時展示②

佐野美術館のおひなさま



《御殿飾り》大正 14 年 佐野美術館蔵

ずっしりとした重厚感を放つ「御殿飾り」は、江戸時代後期から見られ、明治から大正時代にかけて上方を中心に流行、その後周辺地域にも広まりました。

豪華な檜皮葺屋根の御殿は御所の紫宸殿を模しており、内部の屏風や畳、扉、階など、細部まで非常に繊細に作り込まれています。中には内裏雛、官女、五人囃子が収まり、他にも隨身、三人の仕丁、桜と橘、漆塗りの道具類などが揃います。多くの職人の手をかけて作られた本作は、制作当時家一軒よりも高価であったとか。どうぞ注目してご覧ください。

その他のイベント

2026.1-3

●2/7(土)

小中学生対象

はじめての油絵

常設展示室

●月2回程度

仏像解説ボランティアのギャラリートーク



ご寄附のお願い

公益財団法人佐野美術館は、皆様からのご支援により美術館運営をはじめ、教育・文化普及活動を行っております。芸術活動を守り育てていくため、皆様のご支援をご寄附としてお寄せください。当館ホームページにてお申込みをお待ちしております。



常設展示室

新収蔵品のご紹介 PartⅠ【1.9(金)―4.5(日)】

新しく当館に寄贈された刀剣をご紹介します。



重要美術品 短刀 無銘 吉光 鎌倉時代(13世紀)

展示作品

●重要美術品 短刀 無銘 吉光 鎌倉時代(13世紀)

附 金沃懸地葵紋散鞘合口拵

●刀 無銘 延寿国資 南北朝時代(14世紀)

附 黒塗黒茄子蒔絵打刀拵

●短刀 銘 越州住藤原国行／貞治元年三月日 南北朝時代(1362)

●刀 銘 直綱 南北朝-室町時代(14-15世紀)

作品はすべて矢田家より寄贈

2026年度 佐野美術館
日本刀初心者講座 受講生募集

日本の優れた文化である日本刀についての理解を深め、その見方と心を学びます。

日 程：2026 年 4 月～2027 年 3 月の

毎月第 4 土曜日(全 12 回)

※12 月のみ第 3 土曜日

10:00～12:00

講 師：住麻紀(元佐野美術館学芸員)

会 場：佐野美術館講堂

対 象：日本刀を初めて勉強する方

資 格：佐野美術館賛助会ミュージッククラブ会員

定 員：10 名

受講料：132,000 円(年間・税込)

※要申込、定員に達し次第募集を締め切ります。

※お申し込み・お問い合わせは佐野美術館「日本刀初心者講座」係まで。

佐野美術館賛助会ミュージッククラブ会員募集

ミュージッククラブは、佐野美術館の運営および諸活動の賛助、会員相互の交流を目的とし発足しました。美術が好きな方、興味をお持ちの方はもちろん、どなたでもご入会いただけます。また、美術館をもっと身近に、楽しく過ごしていただくためのイベントや、会員区分

に応じた様々な特典をご用意しております。皆さまのご入会をお待ちしております。

年会費	正会員	10,000 円
	ゴールド会員	20,000 円
	特別会員	100,000 円

会員期間 4 月～翌年 3 月
(年度更新、随時会員募集中)主な特典 会員証の発行、展覧会入館料無料、ショップ商品 1 割引など
(商品によっては割引出来ない場合があります)

イベント 会員のつどい、芸術鑑賞日帰りバス旅行、館蔵品特別鑑賞講座など(予定)

※詳しくはミュージッククラブ事務局までお問い合わせください。

◀会員のつどい(イメージ)



INFORMATION さんしんギャラリー 善

さんしんギャラリー善は、伊豆・県東部の創作活動を支援する目的で、三島信用金庫 100 周年記念事業の一環として開設しました。佐野美術館が運営を委託され、1 年間に 4 本の展覧会を開催します。

「西伊豆にて」 2025 年

2026 春季 1 展覧会スケジュール
眞野敦(写真)

4 月(会期未定)

さんしんギャラリー 善【展覧会開催時のみオープン】
11:00～16:30 木曜休館
〒411-0857 静岡県三島市芝本町 12-3
TEL 055-991-0034 <https://www.sanshin-zen.jp/>

開館時間：10:00～17:00(入館の受付は16:30まで)
休 館 日：木曜日(祝日の場合は開館)／
展示替期間(2/16-20、4/6-10)／
年末年始(2025.12/22-2026.1/8)

交通案内
JR三島駅南口より
・南へ 1.3km 左側
・東海バス(4 番のりば：N46/47/81 大平車庫行き)で「佐野美術館」下車
・伊豆箱根鉄道に乘換え「三島田町駅」下車徒歩 5 分
東名沼津 I.C. より
・伊豆箱根方面へ 8km、三島玉川交差点を左折、二つ目信号を右折、次の角左折
東名裾野 I.C. より
・南へ 13km
新東名長泉沼津 I.C. より
・伊豆箱根方面へ 10km

※駐車場あり。駐車場混雑時には三島市営駐車場(有料)をご利用ください。